United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization · UNESCO Associated Schools
CONNECT
ユネスコスクールニュースレター　“教員養成”　第 13 号 2020.11.10 発行

国際コーディネーターより（要約）

ASPnet コミュニティの皆様
ナショナルコーディネーターの皆様
教員・児童および生徒・保護者の皆様

ASPnet には、世界 30 カ国以上、100 以上の教員養成機関が加盟しています。教員養成機関は、未来の教育者の能力を構築し、SDG4 ターゲット 4.7 を達成する上で基本となる手段です。そのため本号では、ユネスコおよび ASPnet のメンバーの文脈における教員養成機関の役割を取り上げます。また、政策・生涯学習システム担当ディレクター（Director of the Division for Policies and Lifelong Learning）兼　教師教育臨時セクションチーフ（Chief of the Section for Teacher Education a.i.）である Borhene Chakroun より、ユネスコと教員養成機関および持続可能な開発のための地球市民教育に関連する取り組みについて、特別なメッセージをご紹介できることを嬉しく思います。

さらに、教員養成機関が ASPnet においてどのような取り組みを行っているかのマッピングや、現在の Change Initiative（変革のための取り組み）活動に関する情報もお届けします。

本号は、ユネスコの数々の活動に積極的に取り組み、ますます存在感が増している ASPnet の優良事例や、私たちを刺激する、素晴らしい児童・生徒たちの声にも焦点を当てます。関連のある興味深い新情報をいち早く手に入れるためにも、是非定期的に私たちの新しいウェブページをご確認ください。最後に、先月号でご案内したアンケートで貴重なご意見等を共有してくださった皆様に感謝すると共に、まだご協力いただいていない方には是非とも本ニュースレターをより良いものとするために、ご意見をお聞かせいただきたくよろしくお願いいたします。

主なコンテンツ

◆ 政策・生涯学習システム担当ディレクター（Director of the Division for Policies and Lifelong Learning）兼　教師教育臨時セクションチーフ（Chief of the Section for Teacher Education a.i.）
Borhene Chakroun からの特別メッセージ
ビデオと略歴を見る

◆ ASPnet の教員養成機関のマッピング
ASPnet 国際コーディネーションユニットは、2019 年に教師教育および研修機関の実態を確認するために調査を行いました。調査ではどのような訓練が提供されているか（就職前、在職中、あるいは両期間にお

いて）どの教育レベルの教員を訓練しているか、他の国内外の ASPnet メンバーやより広範囲のユネスコファミリーとはどのようにつながり、協働しているか、さらには地球市民教育、とりわけターゲット 4.7 に関連するアプローチや活動について調べました。記事全文はこちら。

◆ ASPnet　Change Initiative（変革のための取り組み）　教員養成機関と初めてのウェビナー
2020 年 10 月 14 日、ASPnet は Change Initiative - Teacher Education & Training Institutions (TEIs) for Global Citizenship Education for Sustainable Development （変革のための取り組み　ー持続可能な開発のための地球市民教育に向けた教師教育および研修機関）を発足するため、一連のウェビナーシリーズの第一弾を企画しました。
本ウェビナーには、アルゼンチン、ベルギー、コスタリカ、キューバ、フィンランド、ドイツ、日本、ケニア、ラオス、メキシコ、ノルウェー、フィリピン、セネガル、スーダン、タンザニア、トーゴ、ウガンダおよびザンビアの教師教育および研修機関が参加し、2021 年を通してさらにウェビナーを実施し、フォローアップをします。ウェビナー報告書全文はこちら。

◆ 最近と今後のユネスコの活動

- International Day against Violence and Bullying at School Including Cyberbullying（ネットいじめを含む、校内暴力やいじめに反対する国際デー）：詳細についてはこちら。本年 11 月 5 日に開催された国際会議、その要約記事。ギリシャ、ホンジュラス、レバノン他多数のユネスコスクールからの声を集めた公式ビデオもご覧いただけます。
- グローバル教育会合：ユネスコおよびガーナ、ノルウェー、イギリスの各政府は、10 月 22 日にオンラインのグローバル教育会合を共催し、70 カ国以上から国家元首、政府首脳や国際パートナーが参加しました。会合では宣言を採択、コロナ禍によって引き起こされた混乱の計り知れない影響から教育を守るための教育への投資の保護や、次年度にわたって採用する対策について強い決意を表明しました。詳細はこちら。

◆ ASPnet からのお知らせ

- ASPnet と人間と生物圏（MAB）計画：ユネスコは 2021 年に持続可能な開発の学習の場としてユネスコスクールも頻繁に関わってきた、人間と生物圏（MAB）計画と生物圏保存地域世界ネットワークの 50 周年を祝います。各国の事例や優良実践など、ユネスコスクールと生物圏保存地域（ユネスコパーク）とのパートナーシップについて是非教えて下さい（2020 年 11 月 20 日まで）。
- Week of Sound コンテスト　ー参加者募集：ユネスコの公式パートナーである Week of Sound 協会は、”When the Sound Creates the Image!　（音がイメージを創り出す）”と題する短編映画コンテストを企画しています。フランス人作曲家フィリップ・ロンビのサウンドトラックを元に短編映画を作りましょう。参加方法の詳細はこちら。ユネスコとの関連、また協会の取り組みについてはこちら。
- 「星の王子さまとの会話　“Conversation with the Petit Prince”」：コンテストの詳細はこちらをご覧ください。
- オードレ・アズレ ユネスコ事務局長、コンゴ民主共和国キンシャサのユネスコスクールを訪問（Lycée de filles Kabambare、Lycée de limité、フランス語）、女子教育の大切さを強調。
- “Solidarity France-Lebanon（フランス-レバノン連帯）”プロジェクト：現在のパンデミックおよび今年 8 月に起きたベイルートでの爆発事故の余波を受け、フランスのユネスコスクールはレバノン

のユネスコスクールとのパートナーシップ構築を開始しました。最初のパートナーシップはフランスの Michel Chasles college とベイルートの Zaharat El Ishan school との間で結ばれ、2020 年 9 月 24 日にフランス政府が公表した呼びかけに基づき、広義の持続可能な開発を強化するための支援と連帯を目的としています。フランス教育省の呼びかけの詳細はこちら（フランス語）。

- “We are all Global Citizens（私たちはみな地球市民である）” イニシアチブ：ドイツのユネスコ国内委員会は、グローバル危機において連帯のシンボルをつくるべく、ドイツのユネスコスクールに世界各国のパートナー校に呼びかけるよう働きかけました。五大陸から 26 カ国の学校その他のパートナーが、パンデミック下の体験を写真、ビデオ、文章にして送ってくれました。

◆ ASPnet のメッセージを広めよう

- 新着情報
  教育雑誌 ENGAGE – Changing Lives through Education 21 号、”Education and Sustainability（教育と持続可能性）” の特集で ASPnet の記事が掲載されました。ENGAGE は、イギリスの NGO である Steve Sinnott Foundation が発行している、SDG4 達成を目標に教員や教育者を支援する雑誌です。記事全文を読む。
- ASPnet の児童・生徒の声
  静岡県高校英語スピーチコンテストで一般の部、帰国生の部でそれぞれ優勝した不二聖心女子学院高等学校の生徒のスピーチをお届けします。２人のスピーチは ASPnet を通し、国内外にユネスコの価値観を広めようとする精神と、ユネスコスクールの児童・生徒たちがそれぞれのコミュニティで貴重な貢献していることを反映しています。ヒサトミ・ハナノさんのスピーチ全文はこちら。「里山―自然と共存する」をテーマにしたヤギ・サラさんのスピーチ全文はこちら。